社協
立花支部だより
発行　社会福祉協議会立花支部
支部長　丸山　孝宏
尼崎市栗山町 2-25-28　Tel：06-4950-5007　Fax：06-6429-7007

わが町の理解を深め、地域をみんなで盛り上げる交流会

１月１８日（土）塚口西社会福祉連絡協議会の令和７年新年団体交流研修会に参加しました。この研修会は、各種関係団体が集まり、さまざまなテーマで学びを深めるとともに、素敵なギター演奏やお食事で新年を祝う会として開催されました。

令和７（２０２５）年の研修テーマは「多様な尼崎の中の塚口」。文献から見られる弥生時代の塚口の歴史やまちの成り立ちなどを尼崎市立歴史博物館学芸員の桃谷和則先生がご講演くださいました。特に大正時代に塚口西地区の新興住宅地が開発された経緯や、今と変わらない近代的な暮らしなどのお話は、その頃の塚口に住む人々の様子が目に浮かぶようでした。

こうしてまちを知り地域のみなさんとひと時を過ごすことで、塚口西をはじめとした私たちの立花地区がますます良い地域になるよう、みなさんと一緒に歩んでいきたいと改めて感じました。

ところで、「尼崎市歌」というものがあるのはご存じでしたか？ 今回の研修の最後に桃谷先生がご紹介してくださったのですが、昭和１５（１９４０）年に「荒城の月」の作者土井晩翠が作詞した「尼崎市歌」が制定されました。戦中の影響が色濃く残ってはいるのですが、今の尼崎にも通じこれからの明るい尼崎を記しているような５番の歌詞を紹介します。

尼崎市歌（５番）

海を埋めて　陸となす　郷の戸口は　年を逐い
日を逐い増して　栄え行き　来らん明日の　洋々の
望は無限　尼崎　　万歲　万歲　尼崎

＜表彰おめでとうございます！＞

尼崎市社会福祉功労者表彰式における市長表彰に、以下の福祉協会が団体表彰されました。

○　アトレ塚口 ローレルコート福祉協会

尼崎市社会福祉功労者表彰式における市長感謝及び兵庫県自治賞に以下の３名が表彰されました。

○　塚口土手福祉協会　　会長　安藤　恵一　氏
○　立花町２丁目千歳福祉協会　　会長　白井　和彦　氏
○　南武庫之荘第一福祉協会　　会長　西部　始　　氏

回覧																	

社協バス研修

１２月２日（月）社協立花支部役員及び福祉協会長、高齢者等見守り安心委員会代表によるバス研修会を実施しました。この研修は２年に１回、参加者の親睦も兼ねて実施し、今年は総勢５４名の参加があり、研修先として福井県の「人道の港　敦賀ムゼウム」を訪れました。ボランティアガイドによる解説のもと、館内を見学。第二次世界大戦中、ユダヤ難民に“命のビザ”を発行した杉原千畝（ちうね）の人道・博愛精神や、敦賀に到着した難民を支援した市民のエピソードなど当時の様子がひしひしと伝わってくるガイドの話に大きく頷きながら感銘する方が多くおられました。

研修のあとは、三方五湖（みかたごこ）を眺めることができる山頂公園を散策しました。お天気と紅葉も相まってすばらしい絶景でした。足湯を楽しんだり、写真をとったり、みなさん思い思いに時間を過ごしました。

募金活動のお礼とご報告

みなさまよりお寄せいただいた募金の総額を報告いたします。

★ **日本赤十字募金**　　３，７８１，８８７円
国内での災害救護・国際救援活動等の赤十字活動資金に役立てられます。

★ **ともしびの箱募金**　　１，０５７，１６０円
老人給食サービス事業等地域福祉の推進に役立てられます。

★ **赤い羽根共同募金**　　３，９２１，７６４円
子ども・高齢者・障がいのある方等を支援するさまざまな福祉活動に役立てられます。

★ **歳末たすけあい運動**　　４６８，４０１円
新たな年を迎える時期に、安心して暮らせるよう課題を抱えた方への支援活動に役立てられます。

★ **能登半島地震義援金**　１，３８５，９９８円
被災地の方々の支援に役立てられます。

【編集後記】

弥生、様々な花が咲き始める頃、親しい仲間との別れや新しい世界への旅立ちなど人生の節目を迎える人も多いのではないでしょうか。

様々な活動や行事を掲載する「支部だより」が皆様の地域での出会いのきっかけになればと思います。これからも地域の身近な情報を編集委員までご連絡いただければ幸いです。